

中央競技団体现況調査 2022

－登録競技者・団体役職員数・団体経営状況－

2022年11月

貴団体およびご回答者についてお答えください。

- 1) 法人格 (選択) 1. 公益社団法人 2. 公益財団法人 3. 一般社団法人
4. 一般財団法人 5. 特定非営利活動法人 6. 任意団体
- 2) 団体名 ()
- 3) 担当部署名 ()
- 4) ご回答者名 ()
- 5) 電話番号 ()
- 6) E-mail ()

本紙を同封の返信用封筒 (切手不要) でお送りください。
(締切日：2022年12月15日(木))

調査についてご不明な点は、電話または E-mail でお問い合わせください。
調査票はデータファイル (MS Word) でもご用意できます。

調査主体・お問合せ先

笹川スポーツ財団 研究調査グループ 吉田・姜
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 3F
TEL 03-6229-5300 E-MAIL data@ssf.or.jp

I. 登録競技者に関する調査

問1. 貴団体には、当該競技種目の競技者個人またはチーム（団体）について独自の登録制度がありますか。
（○は1つ）

1. ある

2. ない ⇒ 問3へ

【問1で登録制度が「ある」とお答えの団体におたずねします】

問2. 貴団体の登録制度における最新の登録競技者数（審判や役員は含めない）をお答えください。

1) 登録の種類および登録競技者数

1. 個人登録

人（ 年 月 日現在）

男性 人 女性 人

2. チーム（団体）登録

チーム（ 年 月 日現在）

男性 チーム 女性 チーム

II. 団体の役職員に関する調査

問3. 貴団体の 2022年10月1日時点の人員構成についてお答えください。

| 形態 | 男性（人） | 女性（人） | 形態 | 男性（人） | 女性（人） |
|--------------------------|-------|-------|------------|-------|-------|
| 1. 理事（常勤 ^{※1} ） | | | 2. 理事（非常勤） | | |
| 3. 監事 | | | 4. 評議員 | | |
| 5. 正規雇用者 | | | 6. 契約／嘱託職員 | | |
| 7. 出向 | | | 8. 派遣職員 | | |
| 9. アルバイト | | | 10. インターン | | |
| 11. 副業・兼業 ^{※2} | | | 12. その他 | | |
| 合 計 | | | | | |

※1 常勤理事は、フルタイムの勤務者に限らず、一定の頻度で団体の事務所に出勤し、執務を行う方をさします。

※2 副業・兼業は、民間企業等に所属しながら、貴団体の経営力強化や競技力向上事業の業務に従事するために採用された外部専門人材をさします。理事・監事・評議員は含みません。

1) 直近の「理事」改選時期と新任「理事」の人数

1. 理事改選時期 年 月

2. 新任理事の人数 人（男性 人）（女性 人）

Ⅲ. 団体の経営に関する調査

問4. 貴団体の中長期経営戦略および普及・マーケティング戦略の策定状況についてお答えください。

1. 貴団体では、中長期を見据えた総合的な経営戦略を策定していますか。

1. 策定している 2. 策定していない 3. 策定中（完成予定年： ）
策定年（目標年） （目標年： ）

2. 貴団体では、近年スポーツ庁が推奨する中長期を見据えた普及・マーケティング戦略を策定していますか。

1. 策定している 2. 策定していない 3. 策定中（完成予定年： ）
4. 中長期経営戦略に含んで策定している
策定年（目標年） （目標年： ）

問5. 貴団体をご契約されているスポンサー企業（協賛社）についてお答えください。

1. 2021年度以降、スポンサー企業（協賛社）の契約社数は増加または減少しましたか。

1. 増加した 2. 減少した 3. 増減なし

2. スポンサー企業（協賛社）は、どのような目的で貴団体を支援していますか。（〇は3つまで）

1. 宣伝・イメージアップ 2. 商品の販売促進・販路開拓
3. 新商品の開発・新規事業の実証 4. 代表チーム・選手の競技力向上
5. 競技の普及・競技環境の整備 6. 社会貢献（資金的/物的/人的支援）・CSR
7. 特定の社会課題の解決 8. 特定の地域への貢献
9. その他（具体的に： ）

問6. 貴団体の社会貢献活動（「持続可能な開発目標（SDGs）」への貢献を含む）についてお答えください。

1. 社会課題の解決に資する社会貢献への取り組みについて

1. 取り組んでいる ⇒ 以下の設問2. 以降へ
2. 現在は取り組んでいないが、今後は取り組む予定 ⇒ 以下の設問3. 以降へ
3. 現在は取り組んでおらず、今後も未定 ⇒ 以下の設問4. へ
4. 現在は取り組んでおらず、今後も予定はない ⇒ 以下の設問4. へ

2. 社会貢献活動を通じて解決を目指す社会課題について（〇はいくつでも）

1. まちづくり 2. 環境保全 3. 防災・防犯 4. 世代間交流
5. 健康増進 6. 教育 7. ダイバーシティ&インクルージョン
8. 地域産業（援農等）支援 9. その他（具体的に： ）

3. 社会貢献活動を団体経営に導入する目的・意義について（〇は3つまで）

1. 団体の社会的責任・価値向上 2. 経営理念・ビジョンの実現 3. 団体ブランディングの向上
4. 役職員のモチベーション向上 5. スポンサーの獲得強化 6. スポンサーの意向・要望
7. 行政との連携強化 8. 新たな事業機会の獲得 9. 他業種事業者との関係構築
10. その他（具体的に： ）

4. 社会貢献活動を推進する（または、検討する）上での課題について（○は3つまで）

- | | | |
|----------------------|------------------------|------------|
| 1. 取り組みに関する情報が少ない | 2. 資金不足 | 3. 人員不足 |
| 4. パートナー企業・支援組織の発掘 | 5. 団体内の共通理解 | 6. 目標の設定方法 |
| 7. 経営戦略における位置づけ | 8. 経営戦略と一貫性のあるプログラムの企画 | |
| 9. 何から取り組めばよいのかわからない | 10. その他（具体的に： _____） | |

問7. 貴団体の「デジタルトランスフォーメーション（DX）」の取り組みについてお答えください。

1. DXへの取り組みについて

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 1. 取り組んでいる ⇒ 以下の設問2.以降へ | 2. 取り組みを検討している ⇒ 問8.へ |
| 3. 必要だと思うが取り組めていない ⇒ 問8.へ | 4. 取り組む予定はない ⇒ 問8.へ |

2. DXの取り組み内容について（○はいくつでも）

- | | | |
|----------------------|-------------------|------------------|
| 1. 登録競技者データの一元管理 | 2. SNSの活用 | 3. 会議のオンライン化 |
| 4. グループウェアの導入 | 5. 文書の電子化・ペーパーレス化 | 6. 電子決済導入 |
| 7. チケット・グッズ販売の電子化 | 8. データの戦略的活用 | 9. セキュリティ対策強化 |
| 10. クラウドサービスの活用 | 11. デジタル技術の活用 | 12. デジタル人材の採用・育成 |
| 13. コンテンツ配信サービス（OTT） | 14. NFT・トークンの導入 | 15. その他 |

3. DXの取り組みにおける課題について（○はいくつでも）

- | | | |
|------------------------|----------------------|-------------|
| 1. DXに関わる人材が足りない | 2. ITに関わる人材が足りない | 3. 予算の確保が困難 |
| 4. 情報セキュリティの確保が困難 | 5. 経営戦略にDX推進の項目がない | |
| 6. DXを推進する民間事業者との接点がない | 7. 何から取り組めばよいのかわからない | |
| 8. その他（具体的に： _____） | | |

問8. 貴団体の公式ソーシャルメディア（SNS）についてお答えください。

1. 貴団体では、公式ソーシャルメディア（SNS）を開設していますか。

- | | | |
|-----------|------------|--------|
| 1. 開設している | 2. 開設していない | 3. 準備中 |
|-----------|------------|--------|

2. 貴団体が活用する公式ソーシャルメディア（SNS）の種類と登録者数／フォロワー数をお答えください。
（あてはまるSNSに○をつけ、登録者数／フォロワー数を記述ください）

- | | | |
|------------------------|-------------------------|-----------------------|
| 1. Facebook (_____ 人) | 2. Instagram (_____ 人) | 3. Twitter (_____ 人) |
| 4. TikTok (_____ 人) | 5. YouTube (_____ 人) | 6. LINE (_____ 人) |

以上で調査は終わりです。
ご回答ありがとうございました。

中央競技団体现況調査 報告書

2023年3月発行

発行者 公益財団法人 笹川スポーツ財団

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 3F

TEL 03-6229-5300 FAX 03-6229-5340

E-mail info@ssf.or.jp URL <http://www.ssf.or.jp/>

無断転載、複製および転訳載を禁止します。引用の際は本書が出典であることを明記してください。

本事業は、ポートルースの交付金による日本財団の助成金を受けて実施しました。